

令和4年度 第1回総合教育会議 会議録

1. 開 催 日 令和4年11月29日（火）
2. 会 場 文化創造センター 会議室
3. 開会及び閉会時刻 開会14時30分 閉会15時58分
4. 出 席 委 員 森田村長
上田教育長、川田代理、濱本委員、中西委員、川田委員
5. 議場への出席者 渡辺教育次長（説明員）、西田指導参事、氏家補佐（記録者）

議事の概要

- 教育次長 それでは、ただいまより、令和4年度第1回総合教育会議を開催します。村長の進行により進めて参りますのでよろしくお願いします。
- 森田村長 お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。令和4年度第1回目の総合教育会議ということでお集まりいただきました。本日は教育行政の課題について、今後の上札内小学校について意見交換させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。それでは議事を進めさせていただきます。日程第1の会議録署名委員は川田代理にお願いしたいと思います。日程第2の協議第1号の教育行政の課題について、まずは事務局から説明をお願いします。
- 教育次長 （資料に基づき、山村留学の状況、児童数の推移、教職員定数配置基準について説明）
- 教育長 （資料に基づき、管内状況について説明）
児童数の推移を見ると、地元の子供だけでは今後の職員配置が厳しくなる状況です。次年度の山村留学の応募状況は非常にありがたいことですが、山村留学生は毎年人数が変わります。毎年、児童数によって養護教諭等職員の配置が変わってしまっては安心・安全な学校運営ができないと考えています。
- 森田村長 委員の皆さんからご意見あればお願いします。
- 中西委員 上札内地域の状況をお伝えすると、受入前の年も入れると3年間山村留学に取り組んでいて、令和3年度は3家族、令和4年度も3家族受け入れました。1年目は手探りでしたが、今年は3家族とも地域と密接な関係ができていて、ぜひ次年度も残りたいと言っています。なぜ村の子供たちではなく、山村の子供たちに予算を使うのかという意見があるのは承知しています。上札内地域だけのことを考えているのではなく、上小を核として上札内地域が盛り上がる、そして上札内だけでなく、村全体の盛り上がりにつながっていければ、という気持ちで取り組んでいますので長い目で見ていただければと思います。
- 川田代理 上札内地域における学校の必要性は重々わかります。山村留学に頼っていた場合に学校として成り立つのかが問題だと思います。山村留学を続けるのであれば、受け皿となる住宅問題を解消すべきで、村として用意できるのかどうか。

違う視点でも考える必要があります。上札内の活性化のために若い世代向けの定住施策なども必要ではないか。

いつまで上札内小学校を続けるのか、今山村で来ている人のためにも早めの判断が必要ではないか。

濱本委員 当初、村長は山村留学は2年で結果が見えて来ると言っていて、今年が2年目になります。

もっと児童がたくさんいた方がスポーツや遊びなどいろいろな体験ができるのでは。私も上小に通っていたが今はずっと少なくなっている。

上小らしい体験ができているが、他にもいろいろ体験させて欲しい。

今の状況では山村留学が移住に結びつかない。働く場所や住む場所について村として何かできることがないでしょうか。

川田委員 地元の子供が減る中で、山村留学で学校を維持するのは難しいのでは。

1年生から過ごした子が卒業できないのはさみしいので、判断するタイミングは考える必要がある。

地域に学校があるかどうかは、住民のモチベーションが全然違うと思う。CSの取り組みも中小と上小では全然違う。

村として職場や生活環境の問題をどう考えていくか。日高山脈など他のものも絡めた上札内地域の活性化策が必要では。

中西委員 学校が地域の核になっているのは事実です。先日の発表会もたくさんの方々が来て、一輪車の演舞では感動を与え元気づけられました。皆さん学校に来るともっと関わりたいという気持ちになります。

他から見ると上札内地域だけで固まっているようにも見えるかも知れないが、上札内だけが良ければというわけではないのです。上札内が良くなることが村の盛り上がりにつながる重要です。

森田村長 上小は学びの場であるとともに、地域の核であり、いろいろな視点があります。私は、中札内の子どもたちのために残すことが必要だと思いました。小規模校を必要とする子もいます。一度学校を無くしてしまうと二度と元には戻せないで、安易に無くすべきでないと考えています。

学校に行けなかった子が生き生きと通っているという話も聞きます。上美生などでも同じような話を聞きます。大規模校に適応できない子、支援が必要な子が上小を必要とするのでは。上札内の子が中小に通うのも、中札内の子が上小に通うのもどちらも可能です。

ある程度軌道に乗れば住宅の話も出てくると思います。賛否ある中で2戸7,000万円の投資ができる状況ではありません。

まだ2年目であり、もう少し見て小規模のメリットもしっかり教育委員会でPRしていく必要がある。本当に子供たちに必要とされていなければその時には閉校の判断も必要となります。

山村留学の全国からの応募状況の状況を見ても、必要としている方は一定数いると思います。価値観が多様化する中で、大人数でいろいろな経験をさせたいという人もいるし、小規模校で学力や個性を伸ばしたいという人もいます。上小の子がいろいろな交流を行うには、学童や少年団もあります。小規模校のニーズはもっと増えていくのでは。存在意義を考えるとできるだけ残したいというのが私の考えです。山村留学の方たちも住民票を村に移しているのも同じ村民です。今、村外に住んでいる子であっても支えてあげたい。皆さんの意見も正しい。不安定な状況で学校を残すデメリット

もわかる。今は過渡期でありもう少し時間をいただきたい。

川田代理 地元の子が減っていく中で先延ばしにするのはどうなのでしょう。先生も減る可能性がある。山村留学生も村民なのはわかりますが、地元のことを優先して考えるべきでは。不登校はカウンセラーで対応が可能で、中小も生徒数が減る中で先生の目が行き届くのではないかな。

森田村長 上札内だけではなく中札内にも教育予算は力を入れていく考えです。

川田代理 限られた予算の中で1校にした方がよいのでは。

森田村長 30人でも先生の目が行き届くのは難しいと考えています。個性によっては上小を必要とする子が、救える子がいます。

川田代理 中札内で救う方法を考えるべきでは。

森田村長 そのイメージはもてません。

川田委員 自分の子の経験から、親として小規模校があってもよいと思うこともありましたが、結局は子ども自身が学校をどう思うかです。学校の規模ではなく、いろいろな対応ができる大人がいるとよいと思います。中札内は特別支援の子も授業によっては普通学級で過ごしています。必ずしも分けて学びの場を作るのが良いわけではなく、中札内で手厚く支援してもよいのでは。

森田村長 例えば、上小の形を変えて、適用指導教室としてもよいのでは。まだ判断できる状況ではないと考えています。大切なのはオプションがあるということ。中小も機能強化が必要だし、上小も残していくには苦労があります。予算で解決できるのなら予算を付ければよい。子供に苦労させるものではない。

教育長 学習面ではタブレットの活用もできるが、協同的な学びには一定の人数が必要になります。全校の縦割り活動は良いが、学年ごとのカリキュラムにはある程度の規模が必要となります。山村留学にはリスクがあり、場合によっては1年で先生が異動することもあり得ます。中小を学年2学級制にするという方法もあります。今の5年生は2クラスで落ち着いています。教室の関係で中学校では厳しいが、小学校なら可能です。日高山脈との関係で言えば環境省の事務所などの誘致などがあります。山村留学の課題は住宅です。継続の方たちをいつまでとするか。現状では誰かが出ないと次の方が入れない状況になります。市街地から通ってもよいですが、協議会には反対の考えの方もいます。小学校が2校ある中で上小のPRばかりではなく、両校のPRが必要です。

森田村長 上札内で線を引いてしまっただけでは先に進めなくなってしまう。地域としての決断も必要です。

濱本委員 村民の方はどれだけ山村留学を知っているのか、意見を聞いてみたいです。

教育長 学校だよりは両校とも広報に折り込んでいます。

森田村長 上小を理解してもらう工夫が必要です。

教育長 上小は学校だよりのダイジェスト版を作成し広報に折り込んでいます。ダイジェスト版ではなく本物を折り込むようにしたいと思います。

濱本委員 過去に一輪車を交流の杜まつり披露したことがありますが、村民の前で発表して知ってもらうことが必要です。

教育長 村民文化祭で発表するも良いです。石見神楽も短いバージョンを作って発

川田代理	表するとより村民に知ってもらえます。
教育長	来年度も募集するなら住宅の話は必ず出ます。新たに建てるにしても、何年か必要になるのでは。
森田村長	例えばプール跡地を分譲するなど、上札内に住める可能性を作ることが必要です。中小2学級制はよいアイデアだと思います。芽室町では先駆けて35人学級を取り入れました。
教育長	道からの教職員の派遣はありますか。
川田委員	基準どおりしか配置されないので、単費で確保が必要となります。
森田村長	家から離れた時に信頼できる大人がどれだけいるか。ただ先生がいれば良いわけではありません。毎年先生が変わるよりはよい。
	山村留学はもう少し見てからの判断となります。
	地元の子の減少は不安要素ですが、コストがかかっても子供が幸せになればと考えています。これからも教育のあり方についてご意見いただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
濱本委員	その他で皆様からなにかあればお願いします。
川田委員	制服の見直し、LGBTへの対応はぜひ進めていただきたいと思います。
	給食センターは更別側の情報がもう少し早く入っていればと思いました。
濱本委員	今のスタッフに負担がかかっていると思います。
森田村長	アレルギー対応や人員の確保などメリットが大きいと思います。
	皆さん貴重なご意見をありがとうございました。これからも中札内村の教育の充実のためよろしくお願いします。
	本日はありがとうございました。

令和4年11月29日

村 長 森 田 匡 彦

教 育 長 上 田 禎 子

署名委員 川 田 一 幸

記 録 者 氏 家 佑 介